

平成26年度 独立行政法人福祉医療機構 契約監視委員会（第2回）議事概要

○日時等 平成27年2月19日（木）13:25～14:55 於：機構10F 中会議室

○出席者 委員：中村 洋 委員（慶応義塾大学大学院経営管理研究科教授）
松田 憲二 委員（有限会社マツダ・ビジネス・コンサルティング代表取締役）
和田 義博 委員（公認会計士）
太田 克芳 委員（当機構監事） 丸田 康男 委員（当機構監事）

【議事内容】

1. 随意契約見直しに係る取組状況

- (1) 随意契約等見直し計画の状況
- (2) 契約審査会開催実績
- (3) 一者応札・一者応募であった案件の改善状況

2. 審議

〔審議事項〕

- ① 契約点検結果【競争性のない随意契約】（平成26年9月～27年1月）
- ② 契約点検結果【一者応札・一者応募】（平成26年9月～27年1月）
- ③ 契約事前点検結果【競争性のない随意契約】（平成27年2月～8月）
- ④ 契約事前点検結果【一者応札・一者応募】（平成27年2月～8月）
- ⑤ 一者応札・応募等事案のフォローアップ（平成26年度下期分）

【主な意見等】

1. 「各事業システムの運用保守業務に係る入札方式」について、次の主旨の意見があった。
 - ・ 事業システムの運用保守業務については、最低価格落札方式であると応札者に関する技術的な評価の面で適切な契約ができるのか心配であることから、総合評価落札方式を採用できないか検討願いたい。
2. 「COBOL等の特殊な言語プログラムを採用しているシステム」について、次の主旨の意見があった。
 - ・ COBOL等の特殊な言語に依存しないシステムの開発について、長期的な視点で検討願いたい。

【委員の意見等に対する対応】

- 1 について：事業システムの保守運用業務の入札方式については、所管部署とも協議の上、可能な限り総合評価落札方式を採用できるよう検討することとしたい。
- 2 について：新たなシステムの開発については、国からの予算的な制約もあり難しい状況ではあるが、予算等収入面において対応可能な状況となったら、各事業システムにおける開発の優先度を考慮したうえで、新たなシステム開発について検討することとしたい。